

生坂村におけるセンサーカメラ調査結果 概要

長野県林務部森林づくり推進課

鳥獣対策・ジビエ振興室

1 調査目的

センサーカメラ調査によりニホンジカ・イノシシの生息状況を調べ、捕獲等の効果的かつ効率的な被害対策に役立てる。

2 カメラ設置期間

令和2年10月13日～令和3年1月21日

3 カメラ設置場所

下記図1①～⑳の区画に1台ずつ設置

4 カメラ設置台数

20台

5 ニホンジカの撮影頭数

計824頭（内訳：オス170頭、メス460頭、幼獣103頭、性齢不明91頭）

・カメラ20台中19台（No.7除く）でニホンジカを撮影

・撮影頭数が特に多かったカメラは、下記位置図の②、⑤、⑬、⑯であった。

（地図中に赤➡で表示）

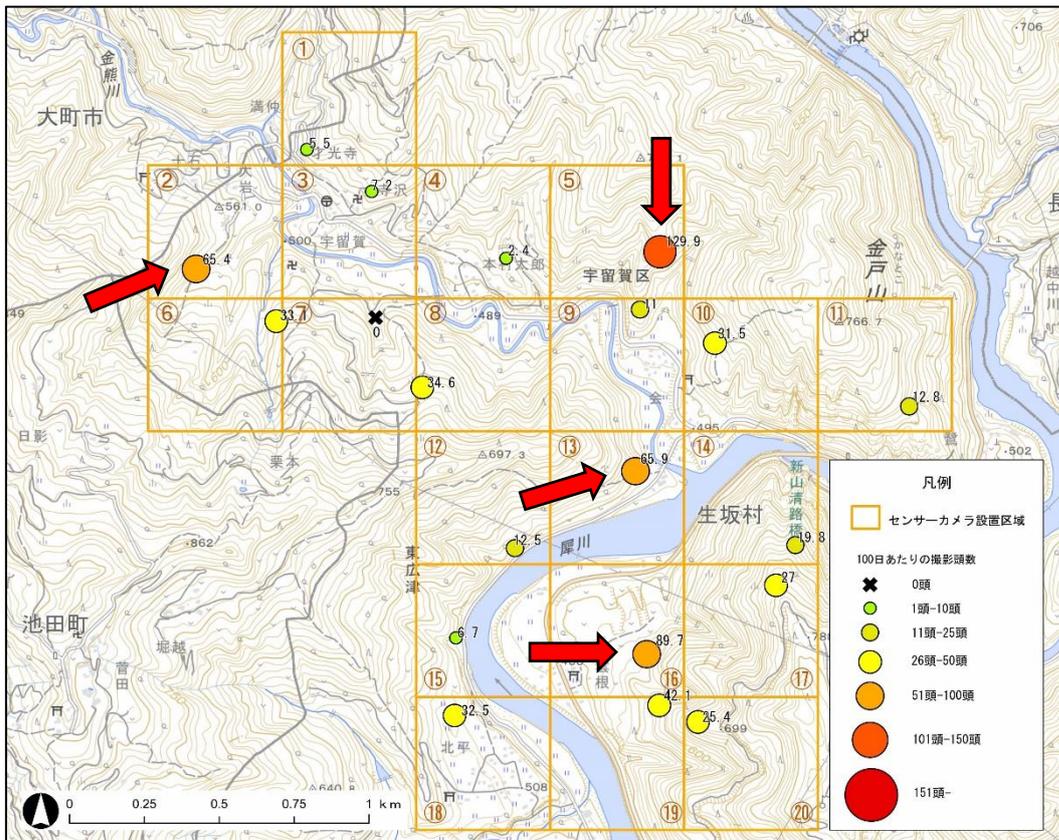


図1 カメラ設置箇所ごとの撮影頭数（全期間）（R2.10.13～R3.1.21）
（○で示した箇所はカメラ設置場所を示し、円が大きいほど撮影頭数が多い状況を示す）

表 ニホンジカの性齢別撮影頻度（全期間）

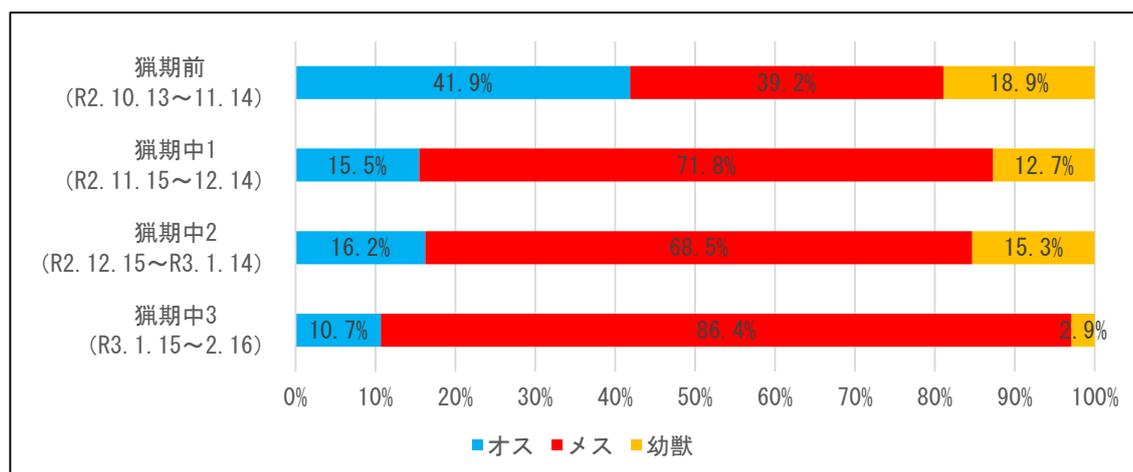
カメラ No.	撮影頭数					撮影回数					設置 日数	100日 あたりの 撮影頭数	100日 あたりの 撮影回数
	オス	メス	幼獣	不明	合計	オス	メス	幼獣	不明	計			
No. 1	5	1	1	0	7	5	1	1	0	6	127	5.5	4.7
No. 2	17	54	4	8	83	15	38	4	6	50	127	65.4	39.4
No. 3	7	1	0	1	9	6	1	0	1	8	125	7.2	6.4
No. 4	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3	127	2.4	2.4
No. 5	29	92	28	16	165	27	65	27	14	105	127	129.9	82.7
No. 6	9	24	1	8	42	8	12	1	5	20	127	33.1	15.7
No. 7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127	0.0	0.0
No. 8	6	26	7	5	44	6	13	6	4	20	127	34.6	15.7
No. 9	3	9	0	2	14	3	5	0	2	9	127	11.0	7.1
No. 10	6	21	7	6	40	6	18	7	6	30	127	31.5	23.6
No. 11	2	13	1	0	16	2	7	1	0	8	125	12.8	6.4
No. 12	0	11	1	0	12	0	10	1	0	10	96	12.5	10.4
No. 13	22	42	6	13	83	22	28	6	10	50	126	65.9	39.7
No. 14	13	8	3	1	25	13	7	3	1	22	126	19.8	17.5
No. 15	1	5	1	1	8	1	5	1	1	6	120	6.7	5.0
No. 16	12	67	19	15	113	11	59	18	13	83	126	89.7	65.9
No. 17	10	20	3	1	34	10	19	3	1	30	126	27.0	23.8
No. 18	14	18	7	2	41	14	14	7	2	28	126	32.5	22.2
No. 19	9	25	9	10	53	8	23	9	8	32	126	42.1	25.4
No. 20	2	23	5	2	32	2	14	5	2	20	126	25.4	15.9
全体	170	460	103	91	824	162	339	100	76	540	2491	33.1	21.7

※カメラ No1-20 は、位置図①～⑳の区画に設置した各カメラ番号を示す（例 No. 1 は①に設置）

※撮影頭数が特に多いカメラを赤字で示した。（No. 2, 5, 13, 16）

（１）ニホンジカ性比、幼獣の割合

- ・ 猟期前は全体確認頭数に対するオスとメスの割合は拮抗していたが、猟期に入るとオスの割合が減少し、メスが大半を占めるようになった。
- ・ 猟期中 3 の期間はオスと幼獣の割合が最も減少し、メスの割合が 8 割を超えるようになった。



(2) ニホンジカの生息密度

当センサーカメラ調査から、生坂村におけるニホンジカの生息密度を推定したところ、16.28 頭/km²であった。県内のニホンジカ高密度生息地と比較すると、同水準の高密度となっていることが分かった。

【H30 年度】生息密度 調査結果

松本市（入山辺）	13.29 頭/km ²	} 高密度生息地
下諏訪町	12.38 頭/km ²	
茅野市	22.3 頭/km ²	
南牧村	12.37 頭/km ²	

【今回】

生坂村 16.28 頭/km²

(参考) 県第5期ニホンジカ管理計画

最終の目標生息密度 5 頭以下/km²

撮影されたニホンジカ



オス成獣 (No. 5)



メス成獣 (No. 12)



幼獣 (No. 5)

6 イノシシの撮影頭数

計 53 頭 （内訳：成獣 42 頭、幼獣 11 頭）

- ・カメラ 20 台中 10 台でイノシシを撮影
- ・イノシシの撮影頭数が多かったカメラは下記位置図②、⑤、⑥であった。

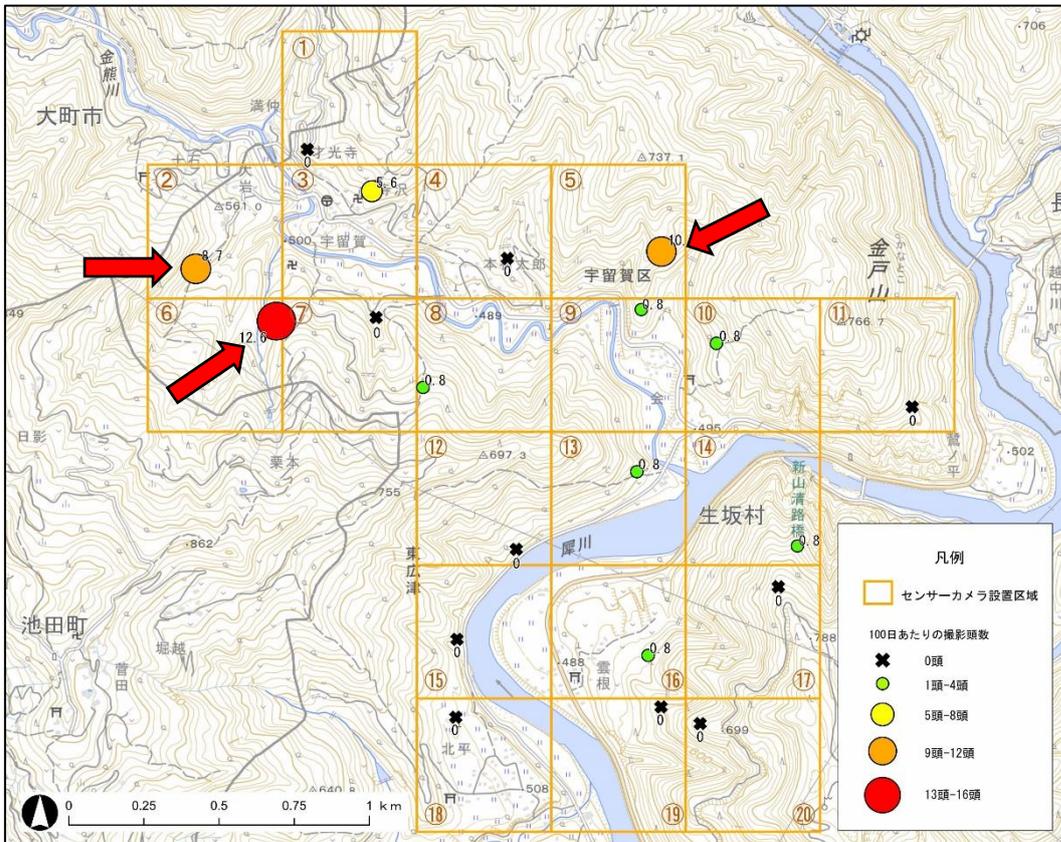


図2 カメラごとのイノシシ撮影頭数（全期間）（R2.10.13～R3.1.21）
 （○で示した箇所はカメラ設置場所を示し、円が大きいほど撮影頭数が多い状況を示す）

表 イノシシの年齢別撮影頻度（全期間）

カメラ No.	撮影頭数			撮影回数			設置 日数	100日あたり の撮影頭数	100日あたり の撮影回数
	成獣	幼獣	合計	成獣	幼獣	計			
No. 1	0	0	0	0	0	0	127	0.0	0.0
No. 2	8	3	11	7	3	9	127	8.7	7.1
No. 3	3	4	7	3	1	4	125	5.6	3.2
No. 4	0	0	0	0	0	0	127	0.0	0.0
No. 5	11	2	13	10	2	10	127	10.2	7.9
No. 6	14	2	16	13	1	14	127	12.6	11.0
No. 7	0	0	0	0	0	0	127	0.0	0.0
No. 8	1	0	1	1	0	1	127	0.8	0.8
No. 9	1	0	1	1	0	1	127	0.8	0.8
No. 10	1	0	1	1	0	1	127	0.8	0.8
No. 11	0	0	0	0	0	0	125	0.0	0.0
No. 12	0	0	0	0	0	0	96	0.0	0.0
No. 13	1	0	1	1	0	1	126	0.8	0.8
No. 14	1	0	1	1	0	1	126	0.8	0.8
No. 15	0	0	0	0	0	0	120	0.0	0.0
No. 16	1	0	1	1	0	1	126	0.8	0.8
No. 17	0	0	0	0	0	0	126	0.0	0.0
No. 18	0	0	0	0	0	0	126	0.0	0.0
No. 19	0	0	0	0	0	0	126	0.0	0.0
No. 20	0	0	0	0	0	0	126	0.0	0.0
全体	42	11	53	39	7	43	2491	2.1	1.7

撮影されたイノシシ



イノシシ (No. 6)



親子 (No. 5)



ヌタ浴びをする個体 (No. 5)